

17日に祝賀パーティーを開催

祝 日本ゴム精練工業会設立10周年

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目一七番二五
東茅場町有楽ビル
電話 (〇三) 三五五五―一二一一

開進ゴムコンパウンド株式会社

取締役社長 長谷部 卓

本社
東京郡墨田区墨田二丁目六番三号
電話〇三(三六四)五一六(代表)
ファックス(三六四)四五一
福島県西白河郡東村大字釜子字大師山
電話〇二四八三四一一三二番(代表)
ファックス〇二四八三四一三五五

「顧客の信頼に応える技術と経験」

角一ゴム工業株式会社

代表取締役 田中資俊

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満五・九・一一
高橋ビル北六号館
電話(〇六)三六四―五六五六

祝 日本ゴム精練工業会創立10周年

九州ゴム加工株式会社

代表取締役 近藤 素英

〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町一二五〇
電話 (〇九四二) 八三一四六九六

株式会社 ケー ス リー
株式会社 北陸 ケー ス リー

代表取締役 小島 昌彦

代表取締役 小島 昌彦

よりきめ細く
よりスピーディに時代のニーズに応えたい

埼玉光ゴム株式会社

取締役社長 加藤 文男

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀一丁目二番地
加藤産高ビル
電話 (〇三) 三三九七一 一五四一

三洋ゴム工業株式会社

代表取締役 君島達五

本社 〒114-0032 東京都北区中十条三三二-14
工場 〒334-0003 埼玉県川口市東本郷一-1-16
電話 (〇四八) 二八一-1603(六代)

品質とスピード

C R K 株式会社

代表取締役 丸橋清信

〒370-0071 群馬県高崎市小八木町三〇六
電話 (〇二七三) 六二一七五一〇

CMB業界の現況

需要減にコスト高加わる

日本ゴム精練工業会の上
野純一会長（東武ゴムセン
ター社長）に、業界動向や
工業会の事業計画などに
ついて聞いた。

◆ ◆ ◆

——業界現状について。

「ゴム製品の生産量が減
っているのに伴い、精練需

A black and white portrait of a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a dark tie with diagonal stripes. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a simple, light-colored wall.

工業会加盟企業27社で総出荷量は13万^トン強か

ゴム精練業界は、自動車や1丁関連ゴム製品生産減少の影響を受け今年3、4月頃から需要環境は悪化、生産量は減少傾向で推移しており、日本ゴム精練工業会では現在前年比17%減程度まで落ち込んでいるとしている。このまま需要が回復しなければ、加盟27社の今年の総出荷量は13万トン強に留まる見通しであり、出荷金額もトータルで約4,000億円前後となっており可能性が高いとしている。いずれも、業界会が精練各社が健全な企業運営可能なポスタープライスと策定している17万、5,100億円を大きく下回っている。これに加え、合成ゴムや上層なホーンブラックな原材料費の高騰、試験費用の上昇など利益圧迫要因もあり、精練各社を取り巻く環境は非常に厳しいと言わざるを得ない。

CMB業界の現状は、主に自動車用品の製造やパソコン関連製品、携帯電話などトータルで「野生生産減」とトータルで「野生生産減」の影響を受け今年3、4月頃から精練需要は減少傾向となり現に至っている。

このため、業界向けの指針となる日本ゴム工業協会（会長上野聡、東武ゴムセブン社長）加盟企業の生産量は、平均で前比約77%程度も減っている。

出しており、現状は3万、も下つていることになる。

また出荷金額では昨年約400億円前後ではあったが、今年は約410億円程度に留まってしまうと

ゴマやカイロホンブツなど各種原料・資材の高騰、
△製品に対する「一丁の高
機能化」に伴う試験費用上
昇といった、精練各社が利
益圧迫に悩む要因もあ
る。

工業会では連年共同の
認識を持ち、原材料メカ
ー及び需工業界との交流を
行っており、さらに
増加する試験費用の反映を
含めた加工費値上げに関し
整備がなされる。

生産量は17%減少

量的な面では、例年今頃ある程度需もまとまって入ってくる加盟企業27社の今年の10億円を算出しており、1000万円もの開きがある。なかの大半を加えてナショナル大兄に追加で買

日本ゴム精練工業会会長

上野 純一 会長に聞く

規模に比例し購買量が多
く、企業が生じない企業では師
格格差が生じている。購買
単価格差をなるべく無す
ためにあくまでも案件が、
工業会の中に資材検査計
画として組織を設け、師
格別調査及び業界交渉を
行う、というのが万方のひ
ろくだと思つて、一歩
踏み込んだ私案として、資
材共同協会を会社設立も
構想してはある」

また、産業廃棄物問題の一
環として、カ、ボン及び充
填利使用後の不夜廃棄処理
問題も課題だ。精練需要が
減少傾向で推移している現
状に、追い打ちを掛けている
原料値上げ、さらに試
験費用上昇と、精練各社は
収益を上げることではな
く、不採算状態であり、理
要業界にはこの現状が、需
解でき、試験費用をのめた
応分の加工費直上を是非

一回の箇中、先に
施したアンケート結果に
よる、現状把握と今後のの
策に、意見交換を行う
アンケート結果について
アンケた、各社の敏しい
況が浮き彫りになってお
このまま何対策を講じ
ければ、廃棄する企業も
あるかもしれない程深刻
このほか、産業廃棄物処
理問題や業務助動などに
意見交換を行う予定だ

純一 会長に聞く

「原材料に関しては、生投資が必要となる。」

「平成13年度臨時総会

「原料松脂を上げのほかに、試験費用と昇母生産コスト引き上げの要因であり、各社の収益を圧迫している。精練各社は試験関連費用として、1社当たり人件費だけでも年間3,000万円前後掛かっている」と推定されている。さらに試験につい

試験費用に関しては、業界全体で約100億円が採算を取れるギリギリのラインと推計される。現在の総荷量13万トン強における総費の総額は約80億円程度と思われる。採算ライン100億円を20%程度下回って

松針試験をめぐっては、業界

独
か

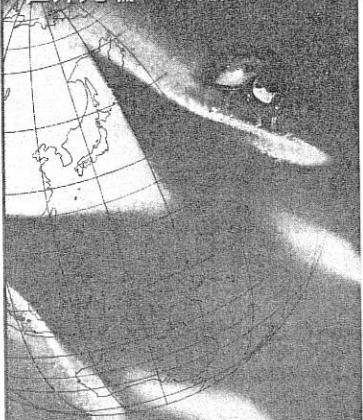
状のようだ。

これに加え、カーボンブラック及び充填剤利用後の空袋など産業廃棄物処理の問題も課題となっている。さらに、新JIS移行に伴う新たな設備投資費用も頭の痛い問題だ。これらの諸問題点を解決の方向へ導く糸口を見つけたし、精練各社が健全な企業運営可能な体制の整備が望まれる。

でもユーザーサイドには何とか理解を求め、適性利益を確保可能な水準にしたいとしているが、ユーザーサイドからは逆に加工費直下

当社は、品質管理の国際規格「ISO9002」及び環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。

世界先端の環境調和とクオリティに挑み続ける。



株式会社 **エヌ・エフ・エス**

取扱品目：カーボンマスターバッチ／フィラーマスターバッチ／NV・NE／
熱可塑性エラストマー粉末ゴム／フッ素ゴムコンパウンド／特殊ゴムコンパウンド

TEL(0867)52-4011

品質を誇る

マスターバッチ

(株)東武ゴムセンター

上野 純 一

工 場 埼玉県春日都市不動産野 2 6 9 5 - 3
TEL 0487(54)4181~3 FAX 0487(54)6802
上海東武 上海市松江工業区 松東路318号
TEL 86 21 5774 2505 FAX 86 21 5774 2473

インタビュー



伊丹良彦氏

日本ゴム精練工業会会長

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」

環境問題に対応へ

「04年以降、毎年原料料価格が高騰し、CMB各社さんは収益面で大変苦勞されておられます。各社独自に価格改定を実施しておられますが、原料価格の値上がり分を全部転嫁することは難しく、また転嫁できても時局的な負担は大きく、トアップの負担は大きくなっています。現状も高

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」

原材料高騰で収益圧迫

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」

総出荷5—10%増に

精練工業会06年推計

特集 CMB業界の現況と展望

総出荷額も若干上回る

ゴム精練業界の推計となる日本ゴム精練工業会推計による加盟企業の昨年の総出荷額は、前年の約13万5000トンを上回ったと推計される。さらに、原料価格高騰分の価格転嫁をある程度できたことで、工業会総出荷額も前年を若干上回った模様。しかし、高騰分を全て転嫁できたわけではなく、精練各社の利益を圧迫している状況は変わりはない。このほか、少量多品種による生産コストの増加や、環境保全への取り組み、顧客の相次ぐ海外進出への対応など、精練業界を取り巻く課題は山積している。

昨年のゴム精練業界の状況は、ゴム製品生産量の増加、新ゴム増、前年比2.7%増の16万4226トンと過去最高を記録するなど精練需要好調を受け、業界の指針となる日本ゴム精練工業会(会)の総出荷額も若干上回ったと推計される。一方、工業会加盟企業に推移しているものの、一部の需要にやや一服感が見られるようになった。止むを得ない状況です。日本ゴム精練工業会の活動は、

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」

ゴム精練 ISO9001・14001認証取得
(カーボン・色物・シリコン練り)

株式会社 白井シーエムビー

代表取締役 山下 果

〒270-1402 千葉県白井市平塚2632番地18
白井第二工業団地内
TEL.0474-91-1571
FAX.0474-92-2236

発売元 山下商事株式会社

東京都墨田区墨田5-47-17
TEL.03(3619)0066

19年度定期総会開催

日本ゴム精練工業会

「06年度は、自動車の生産が好調に伸びたのを背景に、国内CMB需要は第3四半期まで順調に拡大しました。05年度は13万5000トン、06年度は13万5000トン、07年度は13万5000トンと見込んでいます。」



ポリミクスは
環境と安全を重視します



QMS EMS
ISO 9001:2000
ISO 14001:2004
JSAQ793, JSAE87

OHSMS
OHSAS18001:1999
登録番号 JSA0001

YOU CAN LEAVE IT TO
POLYMIX

ゼオンポリミクス株式会社

ゼオンポリミクスは、独自の精練技術を駆使し、
世界のゴム産業の発展に貢献します。

【本社オフィス・フリーダイヤル】
TEL. 0120-291-272
FAX. 0120-291-323

川越事務所 埼玉県比企郡川島町上伊草941-1 〒350-0152
TEL. (049) 297-1511 FAX. (049) 297-4709
大津事務所 滋賀県大津市石居1-11-1 〒520-2272
TEL. (077) 546-1222 FAX. (077) 546-0338

当社は、品質管理の国際規格「ISO9001」及び環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。

世界先端の環境調和とクオリティに挑み続ける。



■ 本社
〒510-0871 三重県四日市市川尻町100番
代表電話番号: 059-345-2022 (企画管理部)
技術部: 059-345-5965
四日市工場: 059-345-2044
四日市デリバリー: 059-345-3890
本社FAX番号: 059-346-5038
工場FAX番号: 059-346-5036
技術部FAX番号: 059-347-0441

● 東京事務所 (東京営業所)
〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10
代表電話番号: 03-3549-2282
FAX番号: 03-3549-2284

大阪営業所: 大阪市中央区備後町4-1-3
〒541-0051 TEL. (06) 6203-1459

名古屋営業所: 名古屋市中村区名駅南1-16-28
〒450-0003 TEL. (052) 571-1332

九州出張所: 佐賀県鳥栖市村田町1250番地
〒841-0072 TEL. (0942) 87-9631

東京工場: 茨城県常総市菅生町3420
〒303-0044 TEL. (0297) 27-2231
デリバリー: (0297) 27-4450
滋賀工場: 滋賀県長浜市蟹瀬町1770
〒526-0103 TEL. (0749) 72-3301
デリバリー: (0749) 72-3799
ファイン製造部: 三重県四日市市大治1-6-17
〒510-0875 TEL. (059) 346-2626

株式会社 エラストニクス

取扱品目: カーボンマスターバッチ/フィラーマスターバッチ/NN-NE/
熱可塑性エラストマー-樹皮ゴム/フッ素ゴム/シリコンゴム/特殊ゴム/シリコンゴム

③

ニックス

〒110-0871 三重県四日市市
代表電話番号：059-34-
技 術 部：059-34-
四日市工場：059-34-
本社FAX番号：059-34-
工場FAX番号：059-34-
技術部FAX番号：059-34-
●東京事務所（東京営業所）
〒105-0021 東京都港区
代表電話番号：03-621-
F A X 番 号：03-621-
大阪営業所：大阪市市
〒541-0051 TEL (06)
名古屋営業所：名古屋
〒450-0003 TEL (052)
東京工場：茨城県常総
〒303-0044 TEL (029)
デリバリ
滋賀工場：滋賀県長浜
〒526-0103 TEL (0745)
デリバリ
ファイン製造部：三重県
〒510-0875 TEL (059)